

■石坂昌孝 自由民権運動家。漢詩・剣術・民権思想が一体化した豪農民権家で三多摩壮士の典型となった。

いしざかまさたか

天保改革始・1841＝ 武蔵国南多摩郡野津田村で、石坂吉恩の三男に生まれ、母の実家名主の石坂又二郎昌吉の養子となる。

阿部正弘首座1845＝ 4歳：

国定忠治礎・1850＝ 9歳：

ペリー来航・1853＝12歳：

蕃書調所・・・1857＝16歳：養父が死去したため、家督を相続し、又二郎を襲名、名主職を継ぐ。
小島鹿之助と義兄弟の契り。

安政の大獄・1859＝18歳：

桜田門外変・1860＝19歳：

生麦事件・・・1862＝21歳：御霊神社に灯籠を奉納。

8月18日政変 1863＝22歳：小島と近藤勇を訪問し、天然理心流の道場をつくる。養父の長女と結婚。

禁門の変・・・1864＝23歳：近藤勇と盛んに交流。10ヶ村の差村問題で小島らと江戸に申し立てに向かうも、

薩摩藩士密航1865＝24歳：嘆願に失敗。長女美耶子が誕生。

大政奉還・・・1867＝26歳：この頃、長男公歴が誕生。

明治維新・・・1868＝27歳：〈明治維新〉前後の地域不穏の状況を乗り越え、

廃藩置県・・・1871＝30歳：青少年の教育機関小野郷学の設立に尽力するなど、地方政界で活躍。

明治6年政変 1873＝32歳：戸長、区長、

佐賀の乱・・・1874＝33歳：県権少属を歴任し、

西南戦争・・・1877＝36歳：

沖縄県編入・1879＝38歳：*発足した神奈川県議会議員となり、議長に選出され、病氣中絶したりするが、

・・・1880＝39歳：来訪した中島信行に説得され、1年で退き、上京。

明治14年政変1881＝40歳：*武相懇心会を設立して民権思想を普及、政治思想学習団体・融貫社に拠って、民権派青年を育成する。

新体詩抄・・・1882＝41歳：自由党入党、

岩倉具視没・1883＝42歳：八王子中心に演説会。

秩父事件・・・1884＝43歳：秩父困民党事件では困民党に理解を示すが、党本部との間にあって苦慮した。板垣退助来八歓迎。

内閣発足・・・1885＝44歳：自由党解党とともに大井憲太郎派に近づき、大阪事件に連座し、

帝国大学始 1886＝45歳：公歴が渡米。拘引。

国民之友始・1887＝46歳：軟弱議員制裁の津久井屋乱闘事件で拘引され、留置場で発狂振舞い釈放後、保安条例で2年間退去処分。

初の対等条約1888＝47歳：長女美耶子が北村透谷と結婚。

帝国憲法発布1889＝48歳：

帝国議会始・1890＝49歳：*第1回衆議院選挙に多摩より選出され、

大本教・・・1892＝51歳：公歴が再渡米。第2回衆議院選挙に当選。

日清戦争始・1894＝54歳：第3回衆議院選挙にも当選。北村透谷が自殺し、その追悼会を開く。第4回臨時総選挙に当選。

白馬会・・・1896＝56歳：群馬県知事となるも、

八幡製鉄始・1897＝57歳：非職。

日比谷公園・1903＝63歳：総選挙で政友会と対立。

日露戦争始・1904＝64歳：*屋敷を売却するなど、家産を整理して、

日露戦争終・1905＝65歳：

韓国反日暴動1907＝67歳：談笑中に突然倒れて没した。

インターネット、